

VOICE OF HEART では各局 3 人、計 6 人の障害者の方にゲストDJとして出演していただいた。番組に出演した感想を頂いたので紹介したい。

バタンバン州ラジオ局 (FM103.25MHz)

7・8月度ゲストDJ ポウ・チャムさん (51 歳、地雷被害者)

ゲストDJとして番組に出演できたことをとても誇りに思います。地雷除去員として、リスナーの皆さんに地雷・不発弾の危険性をよく理解していただけるよう詳しく話しました。また地雷被害者として、同じ障害者の皆さんに人生についてのアドバイスをしました。VOICE OF HEART はとても充実した番組です。どうか放送を続けてください。そしてできれば地雷被害者が特に多いパイリンでも放送していただけたらと思います。また機会があれば番組に携わりたいです。ありがとうございました。



9・10月度ゲストDJ アエク・スオンさん (36 歳、地雷被害者)

私にとって、この VOICE OF HEART への出演はとても意味のあるものになりました。このような機会を与えてくださったCMCさんに本当に感謝致します。この番組はカンボジアの社会にとっても良い影響を与えることができていると思います。特に①障害者が番組を通じてなんらかの形（手紙、詩など）で心の奥の気持ちを表現できること、そして②番組を聴いた障害者を励まし、彼らの生活を向上させることができること、③地雷の危険性を教えて事故を減少されられること、④障害者の悩みを知ってもらうことで差別が減ること、が素晴らしいと思う点です。放送は来年も続けてください。困難に直面している障害者をより多く救ってあげてください。

11月度ゲストDJ チャン・トラー (18歳、ポリオ)

番組にDJという形で参加できてとても楽しかったです。はじめは緊張しましたが、すぐに慣れて、楽しんでトークしました。私なりに障害者に励ましの応援メッセージをたくさん送りました。私に機会を与えてくださり本当にありがとうございました。障害を持って苦労していることや、その苦労にめげずに頑張っていることを番組を聴いている皆さんに知ってもらえただけで私の心は軽くなりました。CMCさん、VOICE OF HEARTは本当に良い番組ですね。日頃外に出ることのない重い気持ちをありのままに表現できる機会がもっとあればいいなあ、と思います。TVでやってもいいですね。また機会があればよろしくお願いします。



バンテアイミエンチェイ州ラジオ局 (FM96.5MHz)



7月度ゲストDJ イェン・ブンチョーンさん (34歳、地雷被害者)

VOICE OF HEARTのDJの仕事はとても楽しかったです。地雷を踏んで足を失ってからずっと心の中にもやもやしたものがありましたが、番組でそれを表現することができてすっきりしました。こんなのは初めてです。私にとってとても貴重な時間でした。以前はいつも目の前が真っ暗で、何も考えることがありませんでしたが、番組に出演した2ヶ月間、とてもリラックスした気持ちが続きました。私のトークで番組のリスナーが励まされたのかは分かりませんが、日頃抱える辛い気持ちを話しました。そして、たくさんの被害者を励ましたくて、応援メッセージもたくさん送りました。この番組は障害者やその家族を励ますのに最高の番組だと思います。差別も減らせるのではないのでしょうか。CMCさん、障害者のためにこんな素敵な番組を創ってくださってありがとうございました。そして私に出演の機会を下さってありがとうございました。

8・9月度ゲストDJ ソム・オルさん (23歳、地雷被害者)

僕のようなものにこのような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。VOICE OF HEARTは本当に良い番組ですね。僕も番組の中で障害者の皆さんに励ましの言葉をかけてきました。ラジオで障害者を救おうという取組みは最高です。ありがとうございます。それにこの番組は障害者を精神的に勇気付けるだけでなく、地雷や不発弾の危険性をリスナーの皆さんに教えていて、素晴らしいです。地雷の事故が減りますね。そして、何より僕が共感できるのは、障害者がこの番組を支えていることです。番組で朗読される手紙、詩、そして流されるインタビューテープは全て障害者の方の協力のもとにつくられており、たくさんの障害者の方がこの番組に関わっています。障害者として、そういう機会が与えられるのはとても嬉しいです。最後にCMCさん、どうかずっとこの番組を続けてください。もっともっと多くの障害者が励まされ、生きる希望が持てるよう



に。



10・11月度ゲストDJ ヨウ・ナットさん（43歳、地雷被害者）

VOICE OF HEART に出演させていただき、改めて自分の人生について考えることができました。そして自信が持てるようになりました。仕事も勉強も頑張ろうと思えるようになりました。ありがとう。番組を聴いたほかの障害者の皆さんも同じように励まされ、自分の人生について考える機会ができたのではないのでしょうか。番組はぜひ続けてほしいです。より多くの方を救いましょう。